

II 学校経営概要

1 学校教育目標

- (1) 自主的に学ぶ生徒 (2) 情操豊かな生徒 (3) 健康で気力あふれる生徒

○教育指標 …校歌の歌詞に入っている言葉でもある

「清く」・・・清く正しく、自分の信念に基づいて、誠実に生きる。

「新しく」・・・日々の努力を重ね、自ら考え判断し、新しい課題に積極的に挑戦する。

「睦まじく」・・・友達や教職員との信頼関係を深め、思いやりの心を持ち、認め合い助け合って生活する。

2 目指す学校像 ～笑顔あふれ、チーム力ある学校～

- (1) 家庭・地域と共に生徒の学びを支える学校
(2) 思いやりと温かさに満ち、互いを認め称え合える学校
(3) 信頼され安心安全で活気あふれる学校

3 目指す生徒像 ～合言葉『学び合い・高め合い・やり抜く』～

- (1) 多様な他者と積極的にコミュニケーションをとり、主体的に学び合う生徒
(2) 自他を大切にし、プラス言葉やポジティブ思考を身に付け、人間性豊かで高め合う生徒
(3) 自ら目標を設定し、社会を生き抜く力を身に付け、強い心と体力でやり抜く生徒

4 目指す教職員像 ～笑顔あふれ、チーム力ある教職員集団～

- (1) 幅広い視野と確かな指導力を持ち、連携・協働できる教職員
(2) 人間性豊かでコミュニケーション力が高く、信頼される教職員
(3) 教育的愛情と使命感を持ち、想像力・創造力豊かな教職員

5 学校経営の方針 本校の伝統と校風を大切にしながら、特色ある教育活動を推進する。

- (1) **和** 全校生徒の担任という意識を持ち、笑顔、あいさつ、活気、挑戦、感謝、思いやり、謙虚、感動などに満ちあふれた学校を生徒とともにつくる教育実践を行う。
- (2) **知** 個別最適な学びや協働的な学習、ICT機器の効果的な活用などを研究・実践し、授業改善に取り組みながら学習意欲の向上を図り、思考力・判断力・表現力等を高め、主体的に学習する生徒を育成する。
- (3) **心** 互いの良さを認め合い所属感を強めたり、自分の長所を磨き課題克服に挑戦して達成感を味わせたりする工夫をしながら、機会を逃さず承認（存在、過程、経過、成長、成果）する指導を励行し、非認知能力※を高める教育実践を行う。
※非認知能力について：IQでは測れないもの。目標、意欲、興味関心を持ち、粘り強く仲間と協力して取り組む力や姿勢のこと。具体的には、以下の2つの力。
①自分に関する力
自尊心、自己肯定感、
自立心、自制心 など
- ②人と関わる力（社会性）
協調性、共感する力、思いやり、
社交性、良い悪いの道徳性 など
- (4) **体** 自他の生命を大切にし、時間を有効に活用する意識を高め、望ましい生活習慣や社会性を育み、健康の保持増進や安全な生活への理解と合理的な実践ができ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活や人生が送れるよう支援する。
- (5) **支援** 社会を生き抜く4つの力※を身に付けるキャリア教育を推進し、「生徒居るところ教師あり」を合い言葉に一人一人の心に寄り添いながら、支援を要する生徒や不応・不登校の生徒などの教育的ニーズも把握し、組織的に対応しながら保護者と共に適切な指導や支援をする。
※4つの力：伝える力、前向きに行動する力、見通しをもって取り組む力、将来につなげる力
- (6) **地域** 地域資源を積極的に活用するなどして地域理解を促進しながらふるさとへの愛着心を醸成し、保護者や地域とより深い信頼と協調の関係を構築しながら連携・協働し、地域とともにある開かれた学校づくりを推進する。
- (7) **職員** 教職員は、学校経営の方針などを共有し、教師力（教職に対する強い情熱、教育専門家としての確かな力量、生徒への教育的愛情）や総合的な人間力（豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀、コミュニケーション能力、幅広い視野）を高め、学校経営に参画する。

6 本年度の努力点

生きる力を身に付け、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す。

(1) 確かな学びを育む教育の充実

- ア 教育課程の編成や教育環境整備を工夫し、学力向上（ICTの効果的な活用、協働的な学び等）やキャリア教育、特別支援教育等に計画的・組織的に取り組む。
- イ 学校評価等を活用したよりよい学校づくりを推進し、研修等により職員の研鑽を重ね、組織が機能するよう運営を工夫し、教育活動が生徒の確かな学びになるよう努める。

(2) 豊かな心を育む教育の充実

- ア 普段の観察や声かけの他、教育相談等も活用して生徒の心に寄り添いながら生徒指導を充実させ、道徳教育や特別活動、人権教育、福祉教育、読書活動、勤労奉仕活動などを中心として全教育活動で豊かな心を育むよう努める。

(3) 健やかな体を育む教育の充実

- ア 自他の生命を尊重し、健康管理能力を高め、楽しく効果的な運動になるような体力づくりを推進し、健やかな体を育むよう努める。

(4) 安全教育の充実

- ア 未然防止に力を入れ、早期発見、早期対応、再発防止など危機管理に努め、登下校の安全確保や安全対応能力の向上にも努める。

(5) 家庭や地域社会、関係機関等と連携した教育の充実

- ア 交流活動や地域理解を促進し、家庭や地域社会、関係機関、学校運営協議会等と連携しながらチーム学校や社会に開かれた学校づくりを推進する。

7 本年度の具体策

※ア等の後に、6の本年度の努力点との関連を記載

※(ア)等下線は生徒や保護者等の学校評価との関連15項目

(1) 教育課程

ア 教育課程編成と実施 …6-1 確かな学び

- (ア) 時間割や日課の工夫、学校行事を精選し、授業時数や50分の授業時間を確保する。
- (イ) 月予定表や週報、日報により、教育活動を円滑に実施する。

(2) 学習指導

ア 学力向上 …6-1 確かな学び

- (ア) 学習における生徒の実態の分析や考察を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善に取り組み、「学習の7か条」を徹底させながら学業指導の充実を図り、「学びに向かう集団づくり」「安心して学べる雰囲気づくり」に努める。
- (イ) 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るためにICT活用等の指導方法を工夫したり、言語活動を充実させたりしながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実するように努め、「生徒が意欲的に取り組む授業づくり」「生徒にとって分かった・できたという満足感のある授業づくり」に努める。
- (ウ) 課題を工夫して課すことにより、家庭学習の充実を図る。

イ 道徳教育 …6-2 豊かな心

- (ア) 道徳科の授業の指導時数の確保に務め、年間指導計画にそった指導を行い、多様で効果的な指導方法の工夫を図り「考え、議論する道徳」の授業実践に努める。
- (イ) よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を工夫し、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。

ウ 特別活動 …6-2 豊かな心

- (ア) 生徒主体の係活動や生徒会活動や学校行事等の特別活動の充実を努め、それらを通して特色ある学校・学級づくりを実践し、自己有用感など自尊感情を育てる。
- (イ) 学級活動を中心に、話合いの仕方をもとに学級における話合い活動を活性化させる。

エ 人権教育、福祉教育 …6-2 豊かな心

- (ア) 教育活動全般を通して、一人一人が互いのよさを認め合い称え合い感謝し合うなど人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成し、自己肯定感の育成に努める。
- (イ) 人権教育に基づいた授業の実践に努め、人権意識の育成を図る。
- (ウ) 高齢者や福祉施設等との交流を通して、福祉教育の充実を図る。

オ 読書活動 …6-2 豊かな心

- (ア) 朝の読書や国語科の発展読書、自主的な読書などを通して、豊かな感性や情操が育まれるよう読書活動の充実を図る。
- (イ) 学校司書や図書委員会と連携し、学校図書館や移動図書館などの利用促進に向けた取組により、読書活動の推進を図る。

(3) キャリア教育（進路指導）

ア キャリア教育 ……6-1 確かな学び

- (ア) 学業指導の充実を図り、教科・学級活動におけるキャリア教育を意識した授業の研究とその実践に努める。特に、各教科の授業で、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる基礎的・汎用的能力（4つの能力：伝え合う力、前向きに行動する力、見通しをもって取り組む力、将来につなげる力）の育成を心がける。
- (イ) 学校で学ぶことと社会との接続を意識させながら、職業人講話や体験活動、校舎内のキャリア教育関連の掲示物や進路相談室等の情報や資料の充実を図りながら職業観や勤労観を育み、キャリア・パスポート等も活用して生徒が主体的に生き方を考えるための環境を整備したり、生き方や進路について現実的に考える機会を設けたりする。

(4) 生徒指導

ア 生徒指導 ……6-2 豊かな心

- (ア) 未然防止を心がけ、早期発見や早期対応、再発防止等のため、生徒アンケートや生徒指導委員会、情報入力シート、報告・連絡・相談+確認を徹底し、教職員間で情報を共有して共通理解を図り、組織的・体系的な生徒指導の取組を進める。
- (イ) 保護者や SC、SSW、関係機関（適応指導教室、学校教育課、医療機関、警察等）等と連携を図り、生徒に寄り添いながら問題行動の解決に努める。
- (ウ) 生徒にとって自分の居場所があり、仲間と共に楽しく安心して学習できる魅力ある学級づくりに努め、生徒との温かな人間関係を構築する。学年主任等は後方支援を欠かさない。
- (エ) 共感的人間関係を構築できるように努め、生徒に自己決定の場を与え自己存在感を感じさせながら、承認やビッグマリオン効果、Iメッセージを付けた言葉かけなどを実践するなど指導を工夫し、自己肯定感を高め自己指導能力の育成を図る。
- (オ) コミュニケーション能力が高まるよう指導を工夫し、人の気持ちや感情をくみ取りながら意思疎通ができる生徒の育成を図る。
- (カ) 規範意識を身に付け、基本的な生活習慣やマナー、場に応じたあいさつ、言葉づかいなどの言語能力や態度が向上がするよう日常的に継続指導し、自己指導能力の向上を図る。
- (キ) 何事にも協力して取り組む生徒や勤労・奉仕活動（清掃活動やクリーン作戦など）に意欲的に取り組む生徒の育成に努める。

イ 教育相談 ……6-2 豊かな心

- (ア) 日記指導や教育相談、各種調査を活かして生徒理解を深め、担任と学年主任、養護教諭、SC、SSW、保護者、関係機関等との連携を図り、問題解決に努めながら一人一人を大切にした学級づくりに努める。

(5) 保健管理

ア 健康教育 ……6-3 健やかな体

- (ア) 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し、健康で安全な生活をする能力・態度を育成する。
- (イ) 健康観察や衛生検査等で健康管理し、疾病や感染症対策、学校保健委員会等の保健指導により生徒の自己健康管理能力向上に努める。
- (ウ) 家庭と連携し、食育指導や給食指導の充実により、朝食欠食、偏食、肥満傾向の把握・改善やメディアとの付き合い方や生活リズムを把握し、改善指導を講じて年齢に応じた睡眠時間の確保や朝食摂取などの基本的な生活習慣の定着に努める。
- (エ) 食物アレルギーについての情報の共有を図り、事故防止や個別的な指導に努める。

イ 体力づくり ……6-3 健やかな体

- (ア) 新体力テスト等の結果から実態に応じた体力増進のための運動を保健体育科の授業に取り入れ、部活動や体育的行事なども通して、楽しく効果的な運動になるよう工夫する。

(6) 安全管理

ア 危機管理 ……6-4 安全教育

- (ア) 危機管理マニュアルにより未然防止や対応について、全職員で共通理解を図る。
- (イ) より安全な対応ができるように、危機管理マニュアルを定期的に見直す。
- (ウ) 安全点検を組織的、計画的に実施し、事故の未然防止や早期発見に努め、危険を防止するための措置を講じる。

イ 登下校の安全確保 ……6-4 安全教育

- (ア) 交通安全教室や交通安全強化日等で自己指導力を育成し、立哨指導等により生徒の安全確保に努める。

- (イ) 交通ルールやマナーが確実に守れるよう、機会を逃さず、また折に触れて繰り返し粘り強く指導を繰り返したり、学校だより学年だよりやホームページ等を活用して保護者にも指導の協力や注意喚起を促したりする。

ウ 安全対応能力の向上 ……6-4 安全教育

- (ア) 避難訓練や防犯教室等を生かして、職員や生徒の安全対応能力の向上に努める。

(7) 特別支援教育

ア 特別支援 ……6-1 確かな学力

- (ア) コーディネーターを中心に教育的ニーズの把握や情報交換、支援方法の協議を行い、具体策をもとに支援を行う。
- (イ) 特別支援教育推進委員会を計画的に実施し、全職員の共通理解を図りながら個に応じた支援を行う。
- (ウ) 個別の指導計画を学期ごとに作成し、評価・改善しながら指導・支援を行う。
- (エ) 保護者や地域に特別支援教育の理解促進や啓発に努め、保護者や SC、SSW、関係機関等との連携を図るなどより効果的な支援となるよう努める。

(8) 組織運営

ア 組織として機能する学校 ……6-1 確かな学力

- (ア) 校務分掌等で役割を明確にし、改善の提案などを促しながら参画経営意識を高め、次年度に向けて記録を残すことを推奨し、新鮮なホウレンソウ+温かいカクニ（報告・連絡・相談、確認）を合い言葉に効率的に機能する組織になるよう努める。
- (イ) 学校教育目標や経営方針、努力点、具体策を受けて、学年経営方針・努力点・具体策を設定し、それらの達成に向けて職員で共有しながら協働して取り組む。
- (ウ) 生徒の情報の共有や組織的な対応、職務の相談等をしやすくするため、ざっそう魂（雑談・相談）で風通しのよい職場づくりと職員間の協力体制の整備を行う。
- (エ) 心身ともにゆとりをもって教育活動の実践ができるよう働き方改革を推進し、持続可能な運営体制の強化を図る。
- (オ) 運営会議や主任会、管理会議等を定期的に行い、意見交換や共通理解を推進し、よりよい学校運営になるよう努める。

(9) 研修（資質・能力向上の取組）

ア 研修 ……6-1 確かな学力 他

- (ア) 校内の研修体制を生かし、計画的な授業研究会や授業改善、指導力向上に努める。
- (イ) 要請訪問を実施したり、現職教育で講師派遣を希望したりなど学校外の人材を活用する。
- (ウ) 各担当等が参加する研修会等から得た情報や技術の共有化を図る。
- (エ) ハラスメント、わいせつ行為、交通ルールの遵守、個人情報の管理、体罰・心ない受け取られる発言、子どもを傷つける無自覚無意識な言動等について、人権感覚を磨くことや発達段階に応じた指導、アンガーマネジメント等の研修に関する研修を充実させる。

(10) 教育目標

ア 教育目標 ……6すべて

- (ア) 教育目標の具現化のために、生徒の実態や保護者、地域の願いなどを踏まえて、目指す学校像や生徒像、職員像、本年度の学校経営方針のもと、努力点や具体策を作成し、教職員間で共有しながら学校全体で推進する。

(11) 保護者、地域住民等との連携

ア 開かれた学校づくり ……6-5 家庭や地域、関係機関等との連携

- (ア) 職員間でしっかりとコミュニケーションをとりながら各係が連携し、学校評価等に基づく PDCA サイクルを回しながらチームで学校運営にあたる。
- (イ) 学校や学年だより、保健や SC だよりなどの発行、ホームページの活用等の工夫により保護者や地域住民に対して情報を広く周知する。
- (ウ) 生きる力や確かな学力の向上、学校内だけでは解決できない諸課題の解決などのために、関係機関やボランティアコーディネーター等との連携を図り、学校教育の諸活動の中に地域資源（人、もの、こと）を積極的に活用する。
- (エ) 学校運営協議会の実施により、特色ある学校づくりや地域とともにある学校づくりを推進する。

イ 交流活動 ……6-5 家庭や地域、関係機関等との連携

(ア) 小中学校相互の授業参観や合同の教育活動を通して、相互理解と連携を深め、教育活動の活性化を図る。

(イ) お互いを尊重し合う機会になるよう工夫して、益子特別支援学校との交流活動を実施する。

ウ 家庭・地域社会との連携による教育力の高揚 ……6-5 家庭や地域、関係機関等との連携

(ア) 学校・家庭・地域社会が連携を密にし、あいさつや交通安全意識の高揚を図り、心身ともに健全な生徒の育成に努める。

(イ) P T A 活動を通して、情報発信し、家庭の教育力を高める。

エ 地域の理解を深める ……6-5 家庭や地域、関係機関等との連携

(ア) 七井中学校の職員であることを自覚し、学校や地域に誇りと愛着をもち地域の理解を深める。

(イ) 生徒・保護者・地域の実態を知り、自治会や育成会、後援会、益子さとやまの会や関係各所等との連携を図る。

(ウ) 地域理解を深め、地域愛を育むため、総合的な学習の時間を活用し、地域調べや地域の見学旅行、関係各所との連携した体験活動等を実施する。

(12) 教育環境整備

ア 教材費品・施設設備 ……6-1 確かな学力

(ア) 効果的・効率的な教材・教具を精選・整備し、有効活用するために保管状態を確認する等活用しやすい環境づくりに努める。

(イ) 施設・設備の有効活用や事故防止のため、修繕箇所に対して公仕や事務長と連携し、気付いたときに素早く対応する。

(ウ) 学校教育課への相談の他、後援会や P T A 等とも連携し環境整備に努める。

【参考資料】

○益子町学校教育目標

1 ま…まじめに学習する人 (知)

常に目標をもち、自ら学びを考える力や豊かな人間性と創造性を身に付けた児童・生徒を育成する。

2 し…しんせつで温かい人 (徳)

個人の人格を尊重し、互いに敬愛し、規律と礼儀を重んじる責任感の強い児童・生徒を育成する。

3 こ…こんなんに打ち勝つたくましい人 (体)

生命を尊び、心身共に健康で、安全な生活を心がけ、たくましく生きる児童・生徒を育成する。

4 の…のどかな自然を大切にする人 (環境)

進んで働き、自然や物を大切に、環境保全に寄与できる心の豊かな児童・生徒を育成する。

5 人…世界に通用する人 (国際)

伝統や文化を尊重し、郷土や国家に対する理解と愛情を深め、国際社会の一員として自覚の持てる児童・生徒を育成する。

○益子町豊かな心育成のまち宣言

1 明るいあいさつ運動を推進します。

◇「あいさつは”あい”を込めて」をモットー居地域でのあいさつの輪を広げます。

2 「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進します。

◇発達段階に応じた、規則正しい生活リズムを確立し、毎日朝食を摂るように心がけます。

3 読書活動を推進します。

◇読書活動（家読・読み聞かせ）を進めることにより、感性や創造力を豊かにし、思考力を高めます。

※家読（うちどく）：本を読んで感想を話し合ったり、好きな本をすすめたり、家族や身近な人と読書週間を共有する取組です。

4 文化芸術に親しむ心を育みます。

◇身近にある文化財や芸術作品に興味・感心をもち、協働に愛着と誇りをもつ心を育てます。

◇本物の文化芸術にふれる機会をつくります。

5 情報モラルを推進します。

◇スマートフォン等、情報通信端末の利用ルールを守り、適正使用を促し、家族内でも十分共通理解を図ります。